

（第 1 面）

産業廃棄物処理計画書	
令和 6 年 5 月 8 日	
大阪府知事 殿	
提出者 住 所 貝塚市 堤 3 0 0 番地 氏 名 ジェイ・ワイテックス 株式会社 代表取締役社長 木村 英興 電話番号 0 7 2 - 4 3 6 - 6 8 0 2	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第 9 項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	ジェイ・ワイテックス 株式会社 第 2 事業所
事業場の所在地	貝塚市 堀 1 丁目 1 2 番 2 号
計画期間	令和 5 年 4 月 1 日～令和 6 年 3 月 3 1 日 6 7
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	2 2 : 鉄鋼業
②事業の規模	売上高 5 , 2 3 3 百万円
③従業員数	1 2 6 名
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙のとおり

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

別紙の通り

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	①廃酸（防錆剤）：酸洗工程	②無機性汚泥（ボンデ）：酸洗工程
	排出量	84 t	1176 t
	（これまでに実施した取組） ・酸洗工程のボンデ液成分の管理を自動化。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	①廃酸（防錆剤）：酸洗工程	②無機性汚泥（ボンデ）：酸洗工程
	排出量	84 t	1176 t
	（今後実施する予定の取組） ・酸洗工程ボンデ槽のボンデスラリーが脱水機へ送れずよく詰まり建浴回数が増加しているため、スラリーポンプへ更新を計画。		

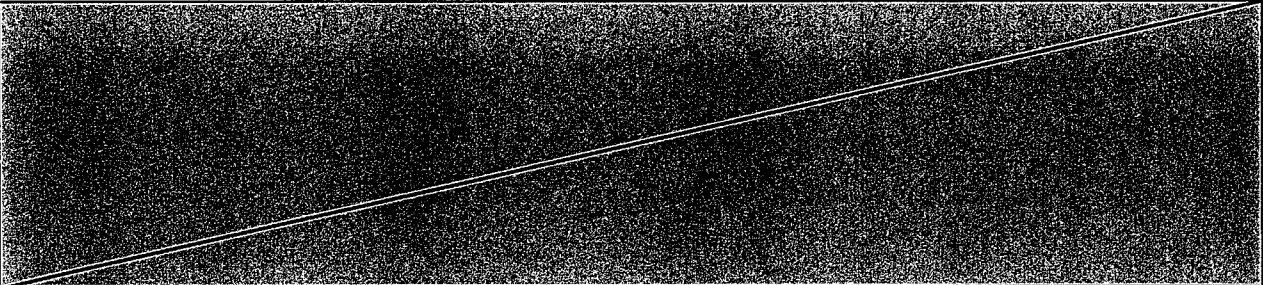
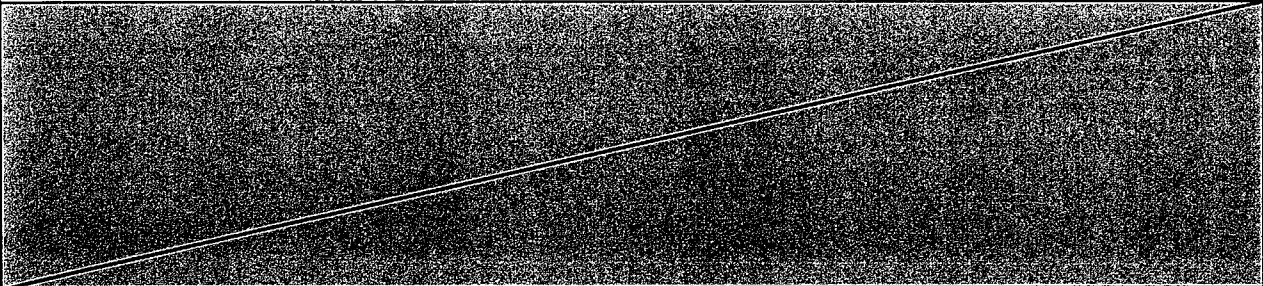
産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） ・無機性汚泥、廃酸、廃アルカリ、廃プラ、木くず、ガラス・陶磁器くず、コンクリート屑、鉍物系廃油、石綿含有がれき類、乾電池、蛍光灯はそれぞれ分別、保管をしている
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） ・特になし

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
【前年度（令和5年度）実績】			
③⑥無機性汚泥（潤滑剤）：伸線工程	④⑤無機性汚泥（ボンデ）：酸洗工程	⑦無機性汚泥：排水処理工程	⑧⑨⑩廃アルカリ：伸線工程
40 t	67 t	2293 t	35 t
【目標】			
③⑥無機性汚泥（潤滑剤）：伸線工程	④⑤無機性汚泥（ボンデ）：酸洗工程	⑦無機性汚泥：排水処理工程	⑧⑨⑩廃アルカリ：伸線工程
40 t	67 t	2293 t	35 t

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
【前年度（令和5年度）実績】			
⑪⑫無機性汚泥（廃アルカリ）：伸線工程	⑬⑭⑯⑰無機性汚泥	⑮無機性汚泥	⑮無機性汚泥
7 t	69 t	3 t	1 t
【目標】			
⑪⑫無機性汚泥（廃アルカリ）：伸線工程	⑬⑭⑯⑰無機性汚泥	⑮無機性汚泥	⑮無機性汚泥
7 t	69 t	3 t	1 t

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
【前年度（令和5年度）実績】			
⑮木くず	⑰⑱汚泥：廃油	⑳㉑廃プラスチック	㉒廃油
2 t	17 t	29 t	5 t
【目標】			
⑮木くず	⑰⑱汚泥：廃油	⑳㉑廃プラスチック	㉒廃油
2 t	17 t	29 t	5 t

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
【前年度（令和5年度）実績】			
㊸石綿含有がれき類：スレート	㊹陶磁器くず	㊺コンクリート破片	—
0.02 t	0.34 t	0.18 t	— t
			
【目標】			
石綿含有がれき類：スレ	㊹陶磁器くず	㊺コンクリート破片	—
0.02 t	0.34 t	0.18 t	— t
			

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	①廃酸（防錆剤）：酸洗工程	②無機性汚泥（ボンデ）：酸洗工程
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	— t	— t
	（これまでに実施した取組） _____		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	①廃酸（防錆剤）：酸洗工程	②無機性汚泥（ボンデ）：酸洗工程
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	— t	— t
	（今後実施する予定の取組） _____		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	①廃酸（防錆剤）：酸洗工程	②無機性汚泥（ボンデ）：酸洗工程
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	— t	— t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	— t	1139 t
	（これまでに実施した取組） ・排水処理工程 汚泥脱水機のろ布交換を定期的 to 実施（約4ヶ月）。含水率が上がらないように管理している。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	①廃酸（防錆剤）：酸洗工程	②無機性汚泥（ボンデ）：酸洗工程
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	— t	— t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	— t	1139 t
	（今後実施する予定の取組） ・酸洗工程ボンデ槽のボンデスラリーが脱水機へ送れずよく詰まり建浴回数が増加している so、スラリーポンプへ更新を計画。		

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

【前年度（令和5年度）実績】

③⑥無機性汚泥（潤滑剤）：伸線工程	④⑤無機性汚泥（ボンデ）：酸洗工程	⑦無機性汚泥：排水処理工程	⑧⑨⑩廃アルカリ：伸線工程
— t	— t	— t	— t

【目標】

③⑥無機性汚泥（潤滑剤）：伸線工程	④⑤無機性汚泥（ボンデ）：酸洗工程	⑦無機性汚泥：排水処理工程	⑧⑨⑩廃アルカリ：伸線工程
— t	— t	— t	— t

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

【前年度（令和5年度）実績】

③⑥無機性汚泥（潤滑剤）：伸線工程	④⑤無機性汚泥（ボンデ）：酸洗工程	⑦無機性汚泥：排水処理工程	⑧⑨⑩廃アルカリ：伸線工程
— t	— t	— t	— t
— t	— t	2175 t	— t

【目標】

③⑥無機性汚泥（潤滑剤）：伸線工程	④⑤無機性汚泥（ボンデ）：酸洗工程	⑦無機性汚泥：排水処理工程	⑧⑨⑩廃アルカリ：伸線工程
— t	— t	— t	— t
— t	— t	2175 t	— t

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

【前年度（令和5年度）実績】

⑪⑫無機性汚泥（廃アルカリ）：伸線工程	⑬⑭⑯⑰無機性汚泥	⑮無機性汚泥	⑮無機性汚泥
— t	— t	— t	— t

【目標】

⑪⑫無機性汚泥（廃アルカリ）：伸線工程	⑬⑭⑯⑰無機性汚泥	⑮無機性汚泥	⑮無機性汚泥
— t	— t	— t	— t

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

【前年度（令和5年度）実績】

⑪⑫無機性汚泥（廃アルカリ）：伸線工程	⑬⑭⑯⑰無機性汚泥	⑮無機性汚泥	⑮無機性汚泥
— t	— t	— t	— t
— t	— t	— t	— t

【目標】

⑪⑫無機性汚泥（廃アルカリ）：伸線工程	⑬⑭⑯⑰無機性汚泥	⑮無機性汚泥	⑮無機性汚泥
— t	— t	— t	— t
— t	— t	— t	— t

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
【前年度（令和5年度）実績】			
⑮木くず	⑲⑳汚泥：廃油	㉑㉒廃プラスチック	㉓廃油
— t	— t	— t	— t
【目標】			
⑮木くず	⑲⑳汚泥：廃油	㉑㉒廃プラスチック	㉓廃油
— t	— t	— t	— t
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
【前年度（令和5年度）実績】			
⑮木くず	⑲⑳汚泥：廃油	㉑㉒廃プラスチック	㉓廃油
— t	— t	— t	— t
— t	— t	— t	— t
【目標】			
⑮木くず	⑲⑳汚泥：廃油	㉑㉒廃プラスチック	㉓廃油
— t	— t	— t	— t
— t	— t	— t	— t

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

【前年度（令和5年度）実績】

㊸石綿含有がれき類：スレート	㊹陶磁器くず	㊺コンクリート破片	—
— t	— t	— t	— t

【目標】

石綿含有がれき類：スレート	㊹陶磁器くず	㊺コンクリート破片	—
— t	— t	— t	— t

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

【前年度（令和5年度）実績】

㊸石綿含有がれき類：スレート	㊹陶磁器くず	㊺コンクリート破片	—
— t	— t	— t	— t
— t	— t	— t	— t

【目標】

石綿含有がれき類：スレート	㊹陶磁器くず	㊺コンクリート破片	—
— t	— t	— t	— t
— t	— t	— t	— t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	①廃酸（防錆剤）：酸洗工程	②無機性汚泥（ボンデ）：酸洗工程
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	— t	— t
	（これまでに実施した取組） _____		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	①廃酸（防錆剤）：酸洗工程	②無機性汚泥（ボンデ）：酸洗工程
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	— t	— t
	（今後実施する予定の取組） _____		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

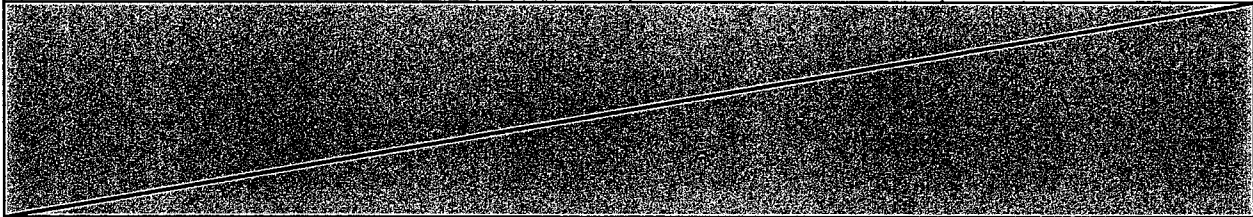
①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	①廃酸（防錆剤）：酸洗工程	②無機性汚泥（ボンデ）：酸洗工程
	全処理委託量	84 t	37 t
	優良認定処理業者への処理委託量	84 t	37 t
	再生利用業者への処理委託量	— t	37 t
	認定熱回収業者への処理委託量	— t	— t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	— t	— t
	（これまでに実施した取組） 廃酸の中和処分と、一部の無機性汚泥、廃プラ、石綿含有がれき類、ガラス・陶磁器類の埋め立て処分を除き マテリアル又は、サーマルリサイクル業者での処分を実施。全体の99%は、優良認定処理業者及び、大阪湾広域臨海環境整備センターでの処理を実施。		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

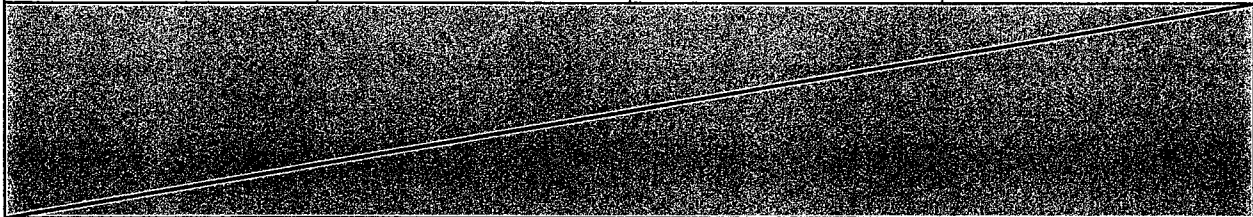
【前年度（令和5年度）実績】

③⑥無機性汚泥（潤滑剤）：伸線工程	④⑤無機性汚泥（ボンデ）：酸洗工程	⑦無機性汚泥：排水処理工程	⑧⑨⑩廃アルカリ：伸線工程
— t	— t	— t	— t



【目標】

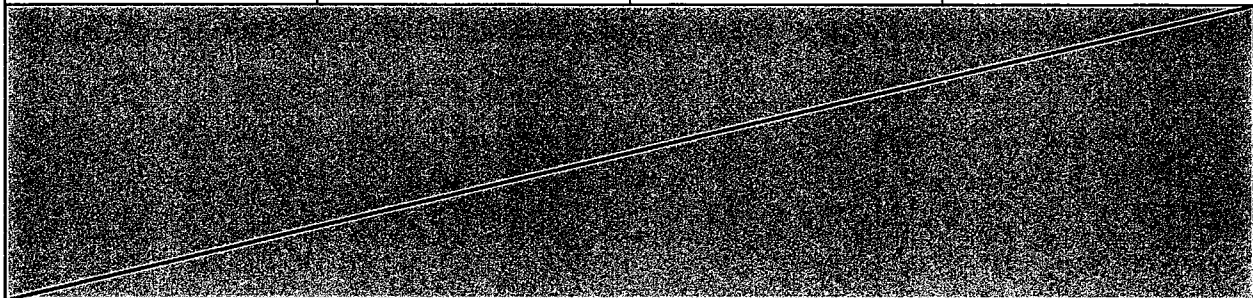
③⑥無機性汚泥（潤滑剤）：伸線工程	④⑤無機性汚泥（ボンデ）：酸洗工程	⑦無機性汚泥：排水処理工程	⑧⑨⑩廃アルカリ：伸線工程
— t	— t	— t	— t



産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度（令和5年度）実績】

③⑥無機性汚泥（潤滑剤）：伸線工程	④⑤無機性汚泥（ボンデ）：酸洗工程	⑦無機性汚泥：排水処理工程	⑧⑨⑩廃アルカリ：伸線工程
40 t	67 t	118 t	35 t
40 t	67 t	— t	35 t
40 t	— t	— t	35 t
— t	— t	— t	— t
— t	— t	— t	— t

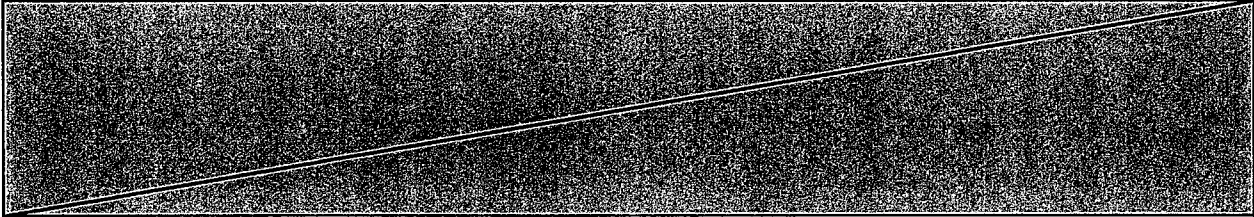


(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

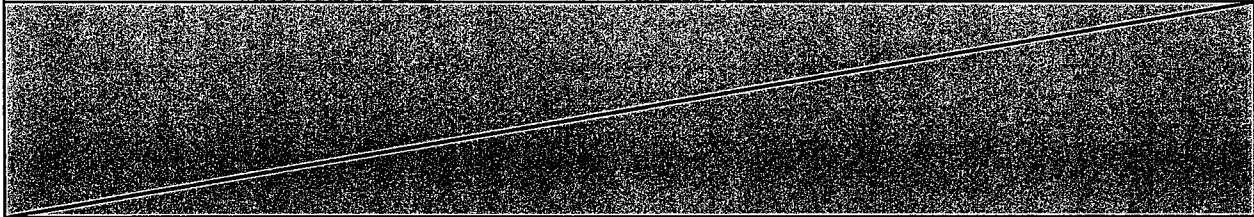
【前年度（令和5年度）実績】

⑪⑫無機性汚泥（廃アルカリ）：伸線工程	⑬⑭⑯⑰無機性汚泥	⑮無機性汚泥	⑮無機性汚泥
— t	— t	— t	— t



【目標】

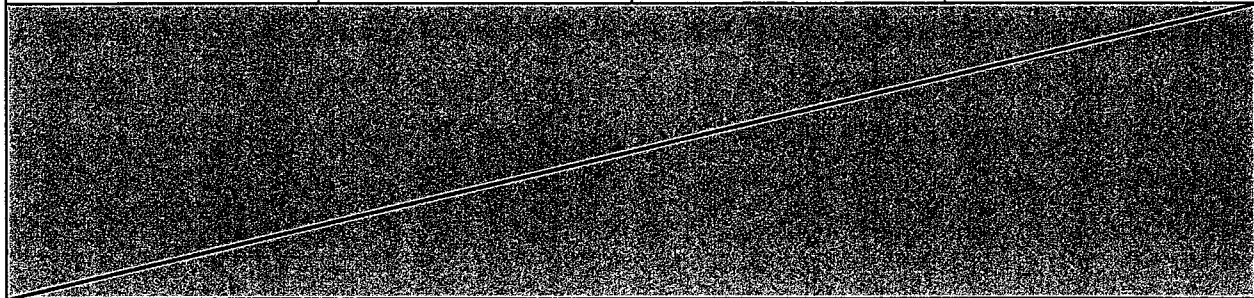
⑪⑫無機性汚泥（廃アルカリ）：伸線工程	⑬⑭⑯⑰無機性汚泥	⑮無機性汚泥	⑮無機性汚泥
— t	— t	— t	— t



産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度（令和5年度）実績】

⑪⑫無機性汚泥（廃アルカリ）：伸線工程	⑬⑭⑯⑰無機性汚泥	⑮無機性汚泥	⑮無機性汚泥
7 t	69 t	3 t	1 t
7 t	69 t	3 t	1 t
7 t	— t	— t	— t
— t	— t	— t	— t
— t	— t	— t	— t

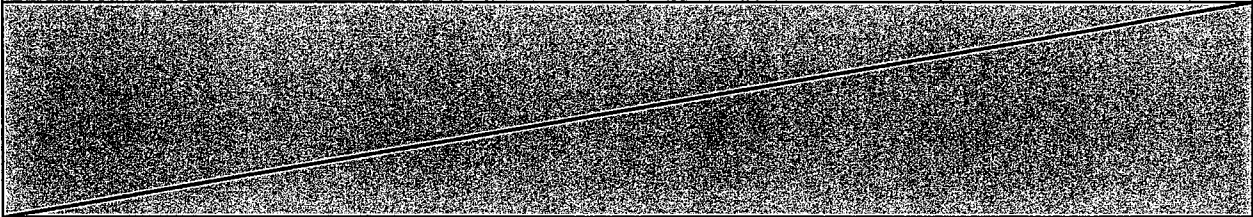


(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

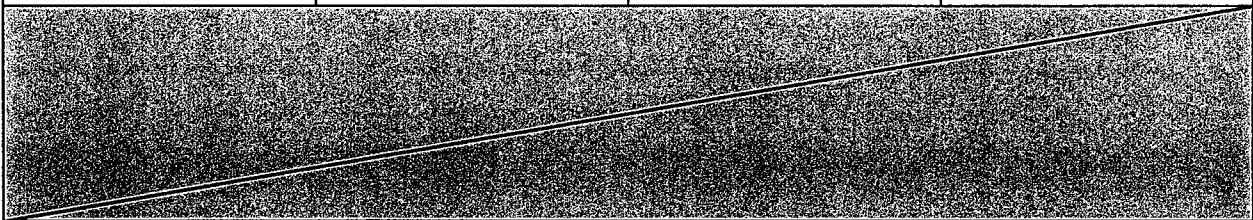
【前年度（令和5年度）実績】

⑮木くず	⑲⑳汚泥：廃油	㉑㉒廃プラスチック	㉓廃油
— t	— t	— t	— t



【目標】

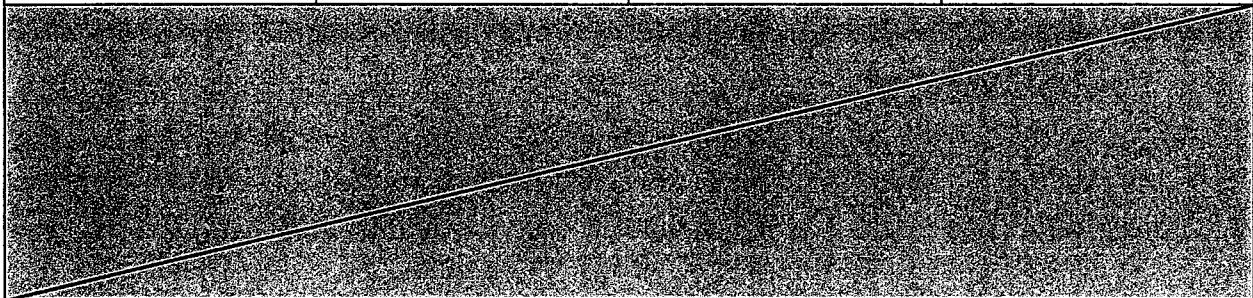
⑮木くず	⑲⑳汚泥：廃油	㉑㉒廃プラスチック	㉓廃油
— t	— t	— t	— t



産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度（令和5年度）実績】

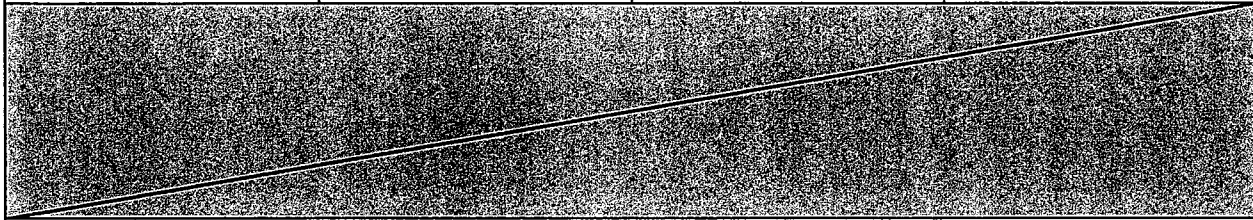
⑮木くず	⑲⑳汚泥：廃油	㉑㉒廃プラスチック	㉓廃油
2 t	17 t	29 t	5 t
2 t	17 t	28 t	— t
2 t	17 t	1 t	5 t
— t	— t	— t	— t
— t	— t	28 t	— t



自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

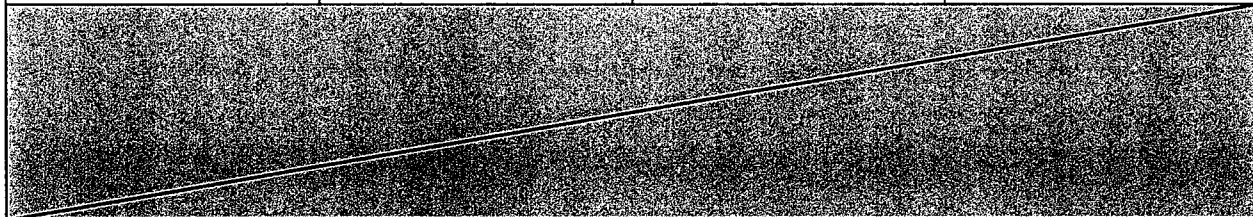
【前年度（令和5年度）実績】

㉔石綿含有がれき類：スレート	㉕陶磁器くず	㉖コンクリート破片	—
— t	— t	— t	— t



【目標】

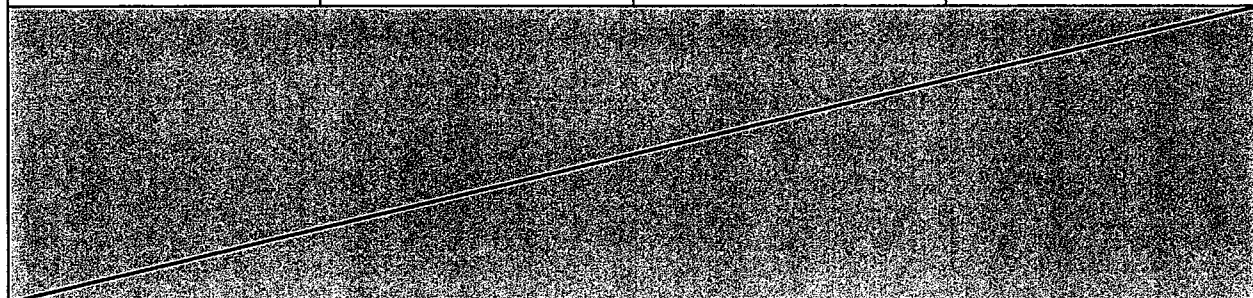
石綿含有がれき類：スレート	㉕陶磁器くず	㉖コンクリート破片	—
— t	— t	— t	— t



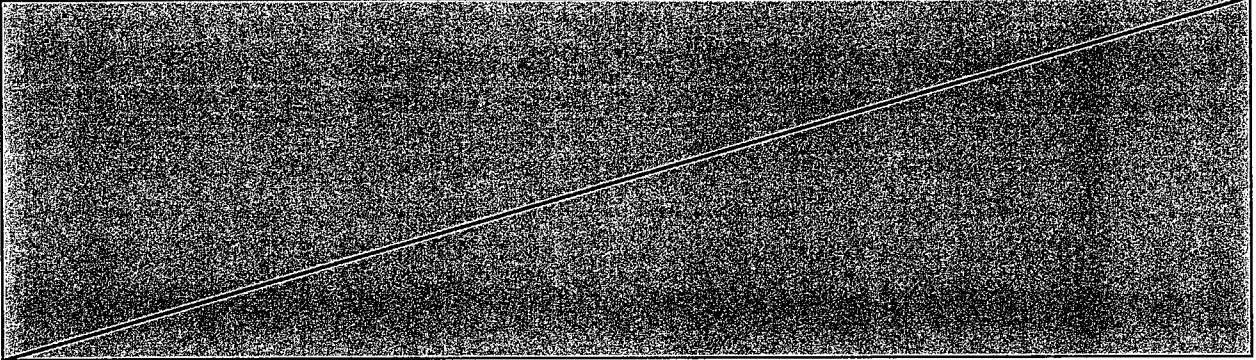
産業廃棄物の処理の委託に関する事項

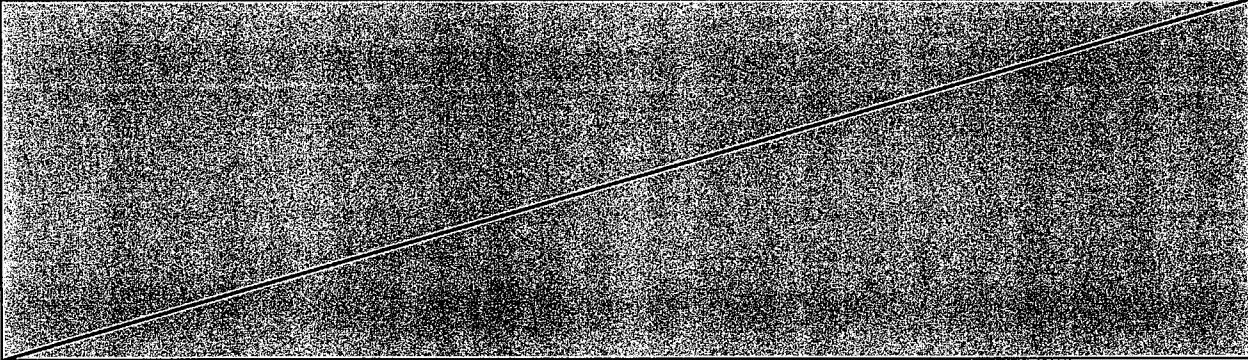
【前年度（令和5年度）実績】

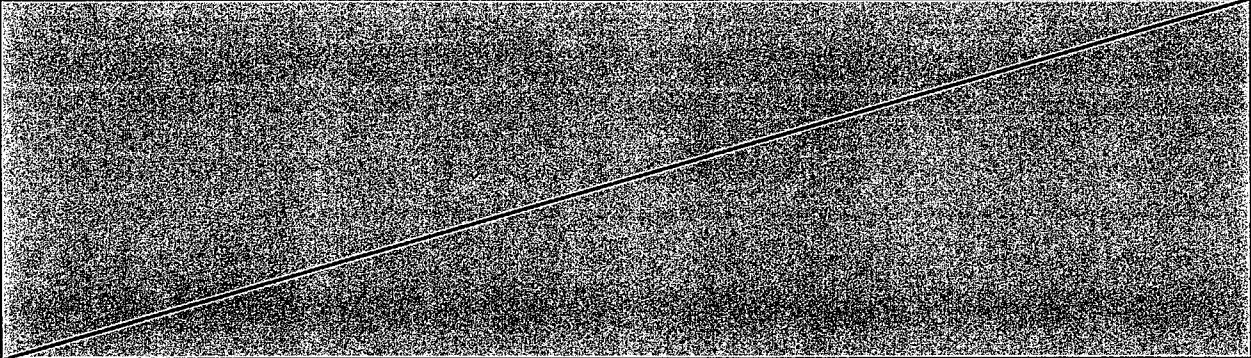
㉔石綿含有がれき類：スレート	㉕陶磁器くず	㉖コンクリート破片	—
0.02 t	0.34 t	0.18 t	— t
0.02 t	0.34 t	0.18 t	— t
— t	— t	0.18 t	— t
— t	— t	— t	— t
— t	— t	— t	— t



②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	①廃酸（防錆剤）：酸洗工程	②無機性汚泥（ボンデ）：酸洗工程
	全 処 理 委 託 量	84 t	37 t
	優良認定処理業者 への処理委託量	84 t	37 t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	— t	37 t
	認定熱回収業者 への処理委託量	— t	— t
	認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組)		
※事務処理欄			

【目標】			
③⑥無機性汚泥（潤滑剤）：伸線工程	④⑤無機性汚泥（ボンデ）：酸洗工程	⑦無機性汚泥：排水処理工程	⑧⑨⑩廃アルカリ：伸線工程
40 t	67 t	118 t	35 t
40 t	67 t	— t	35 t
40 t	— t	— t	35 t
— t	— t	— t	— t
— t	— t	— t	— t
			

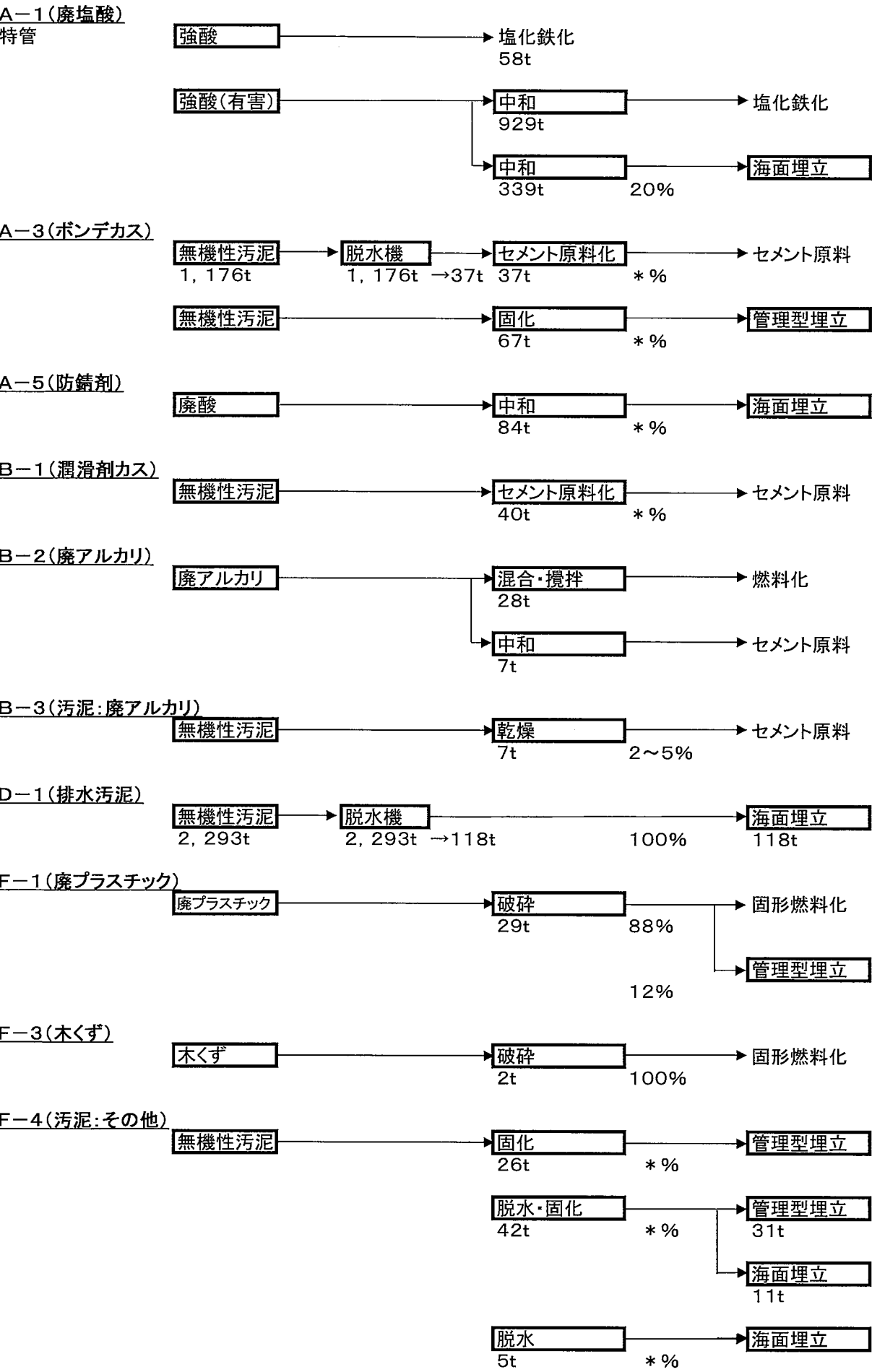
【目標】			
⑪⑫無機性汚泥（廃アルカリ）：伸線工程	⑬⑭⑯⑰無機性汚泥	⑮無機性汚泥	⑮無機性汚泥
7 t	69 t	3 t	1 t
7 t	69 t	3 t	1 t
7 t	— t	— t	— t
— t	— t	— t	— t
— t	— t	— t	— t
			

【目標】			
⑱木くず	⑲⑳汚泥：廃油	㉑㉒廃プラスチック	㉓廃油
2 t	17 t	29 t	5 t
2 t	17 t	28 t	— t
2 t	17 t	1 t	5 t
— t	— t	— t	— t
— t	— t	28 t	— t
			

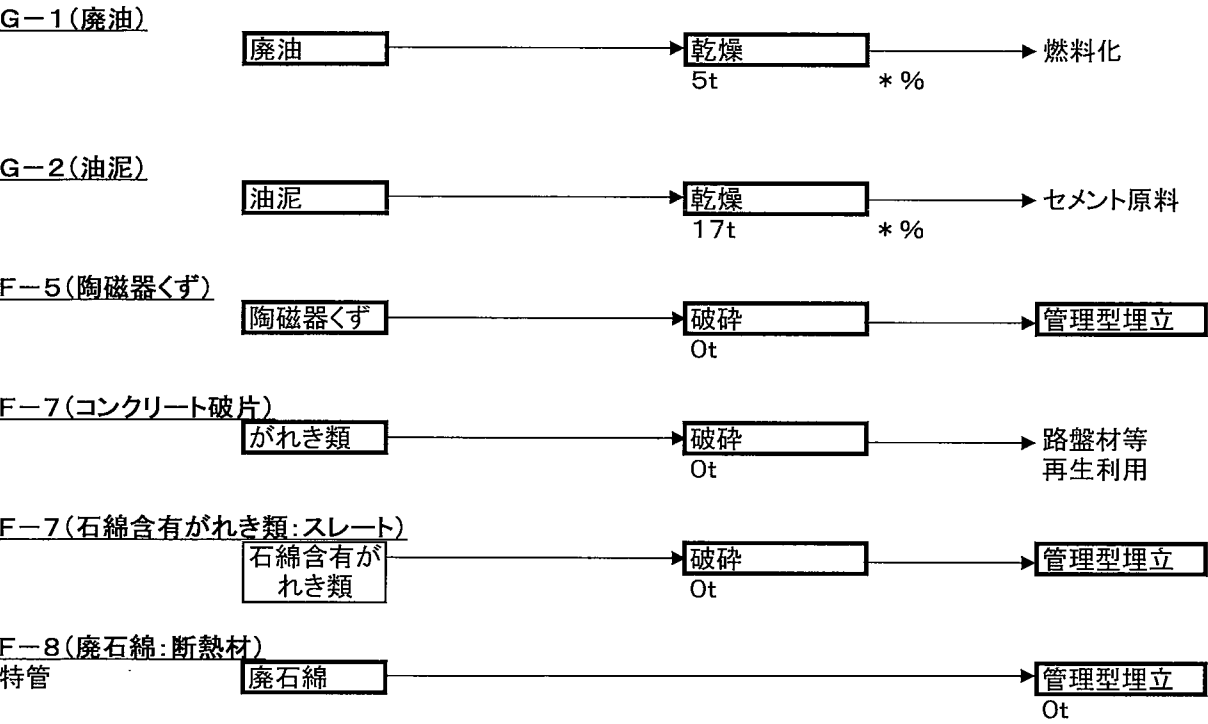
(第6面)

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

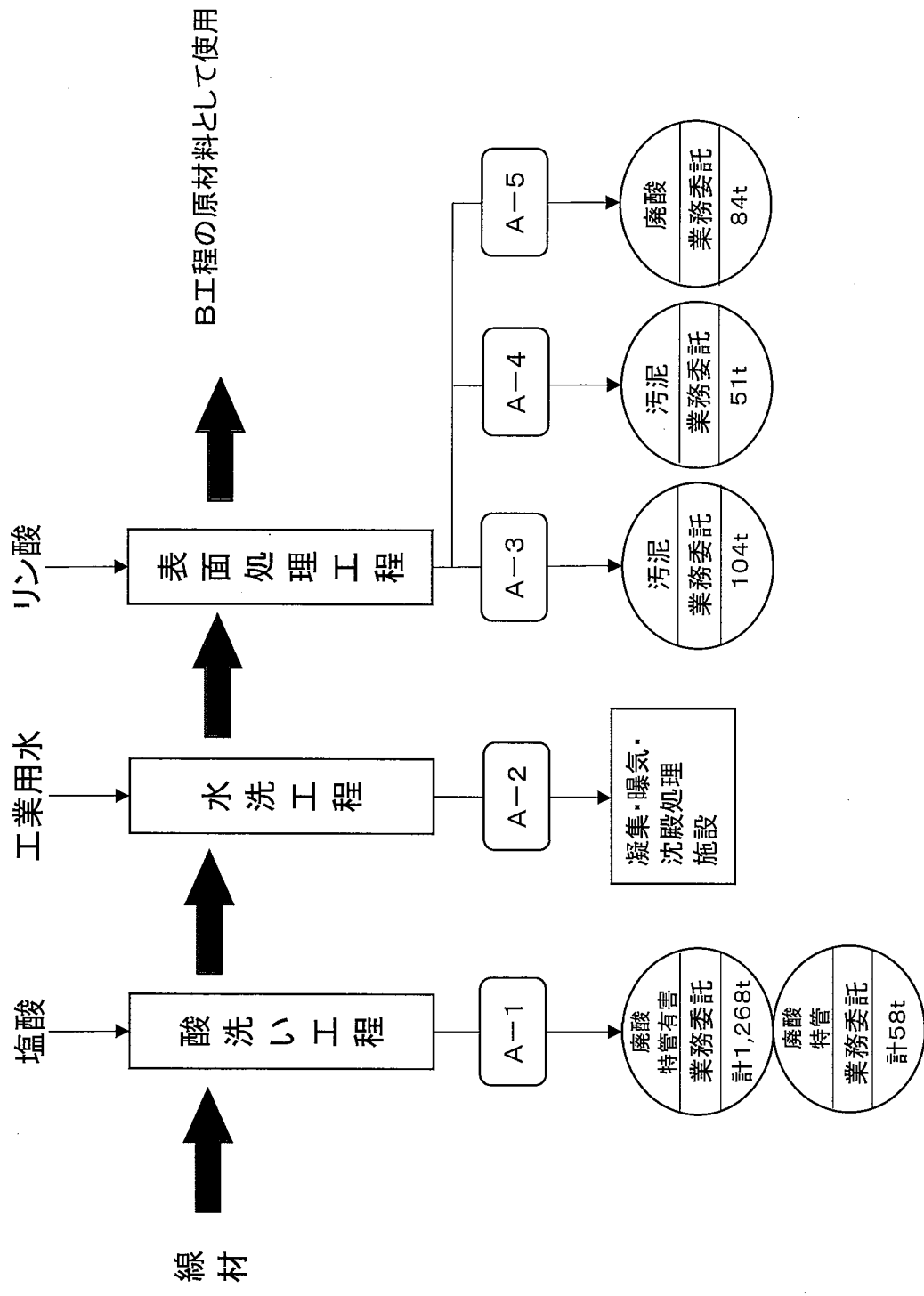


処理工程フローチャート(続き)



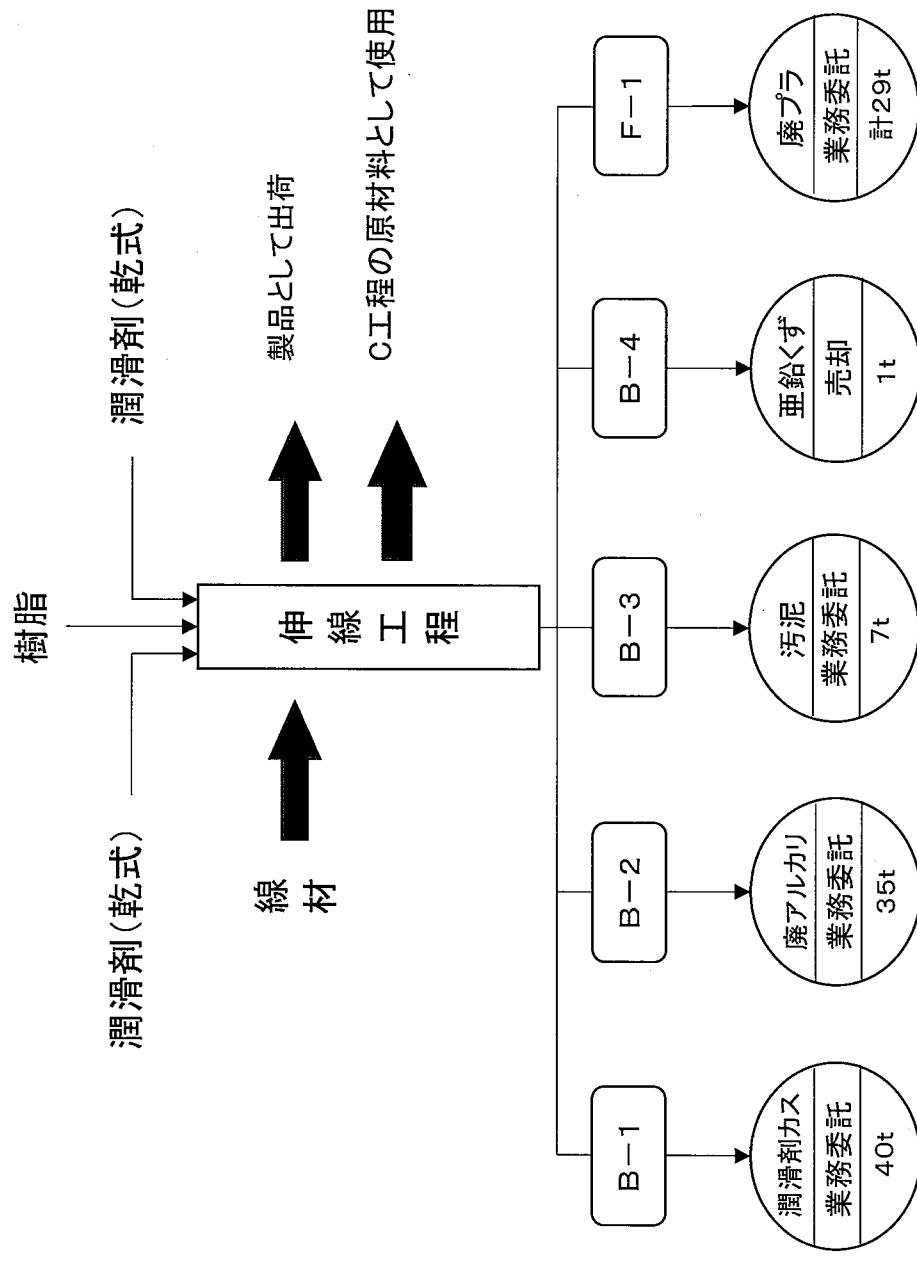
発生工程 フローシート

A. 酸洗工程

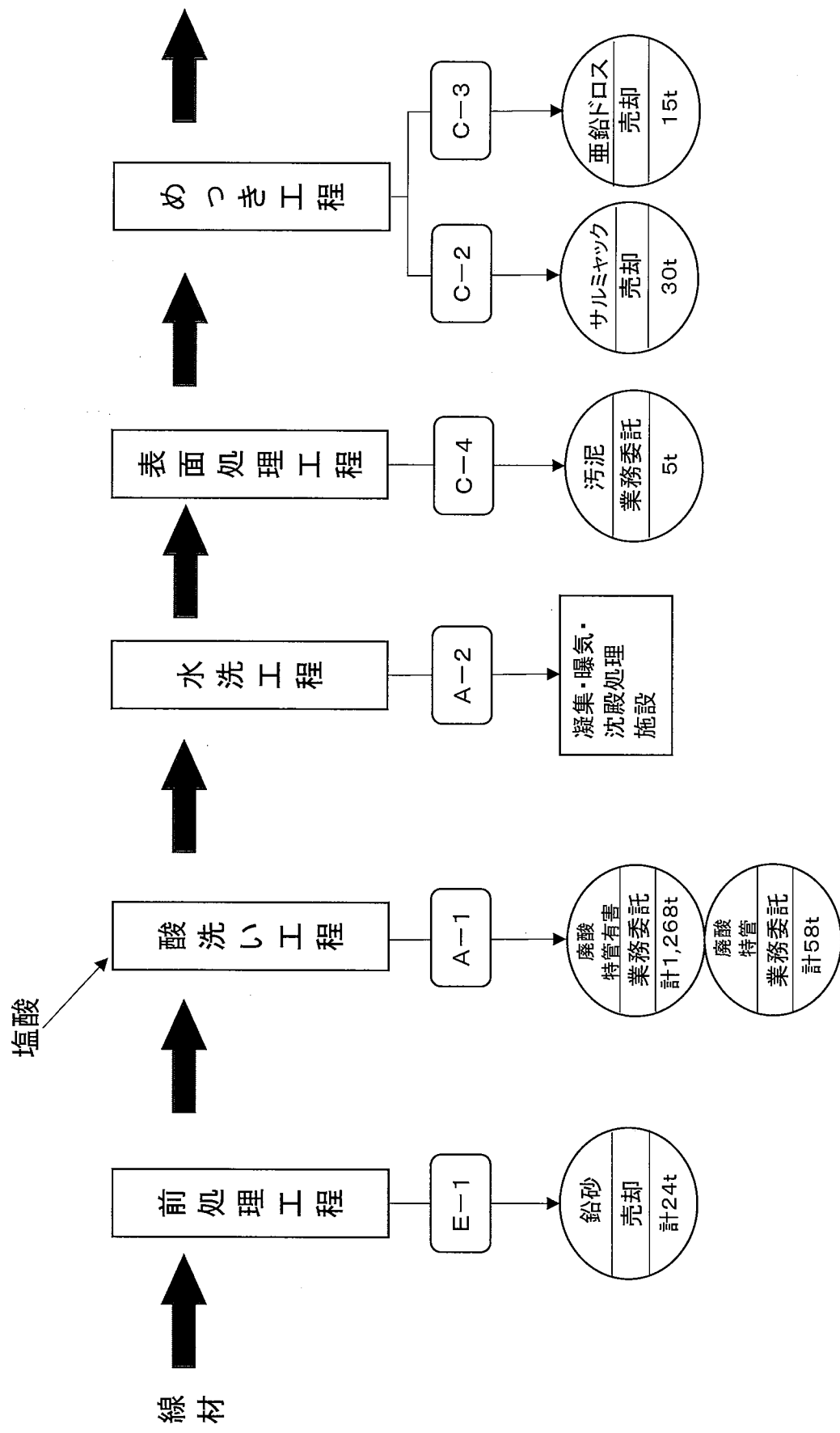


発生工程 フローシート

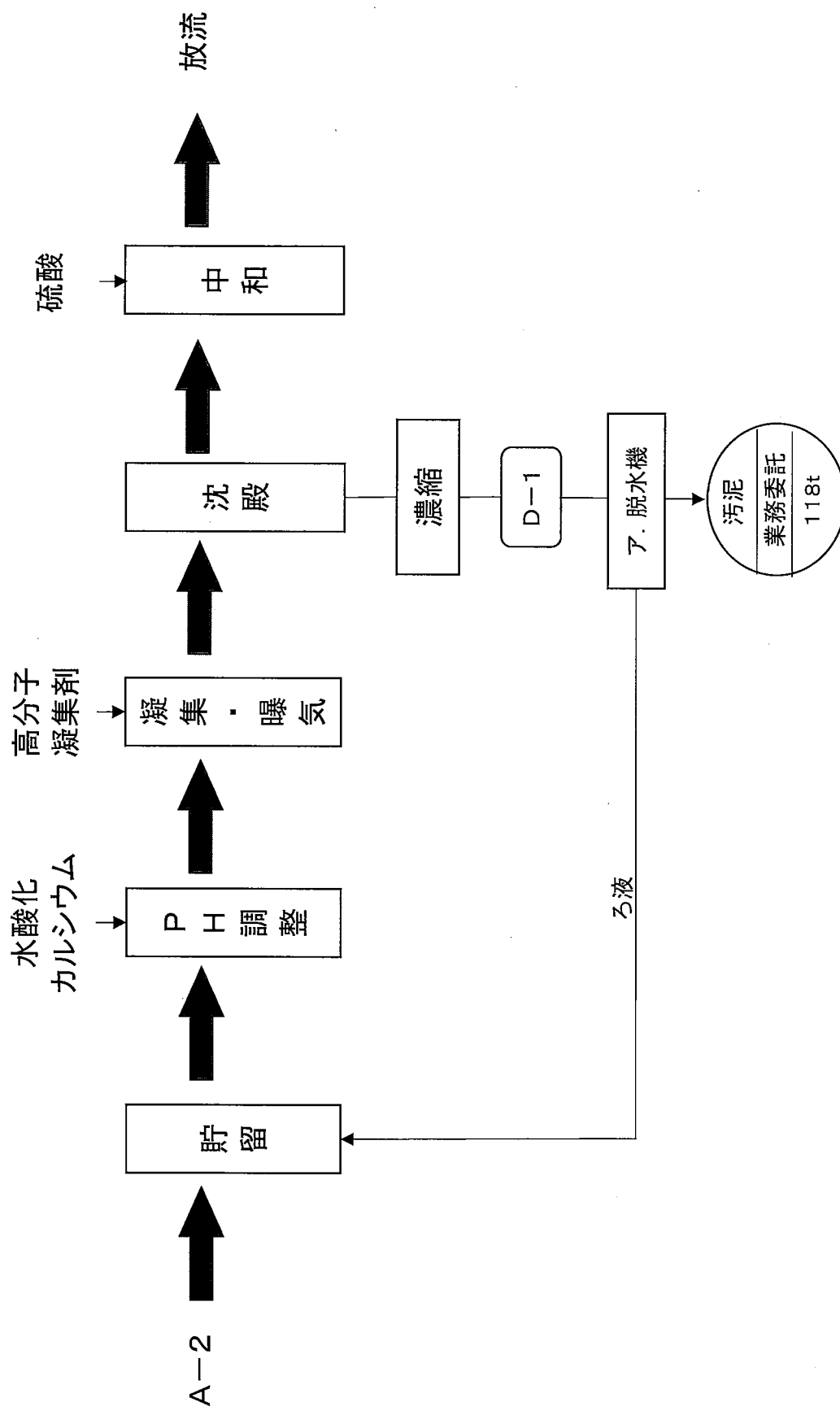
B. 伸線工程



C. めっき工程

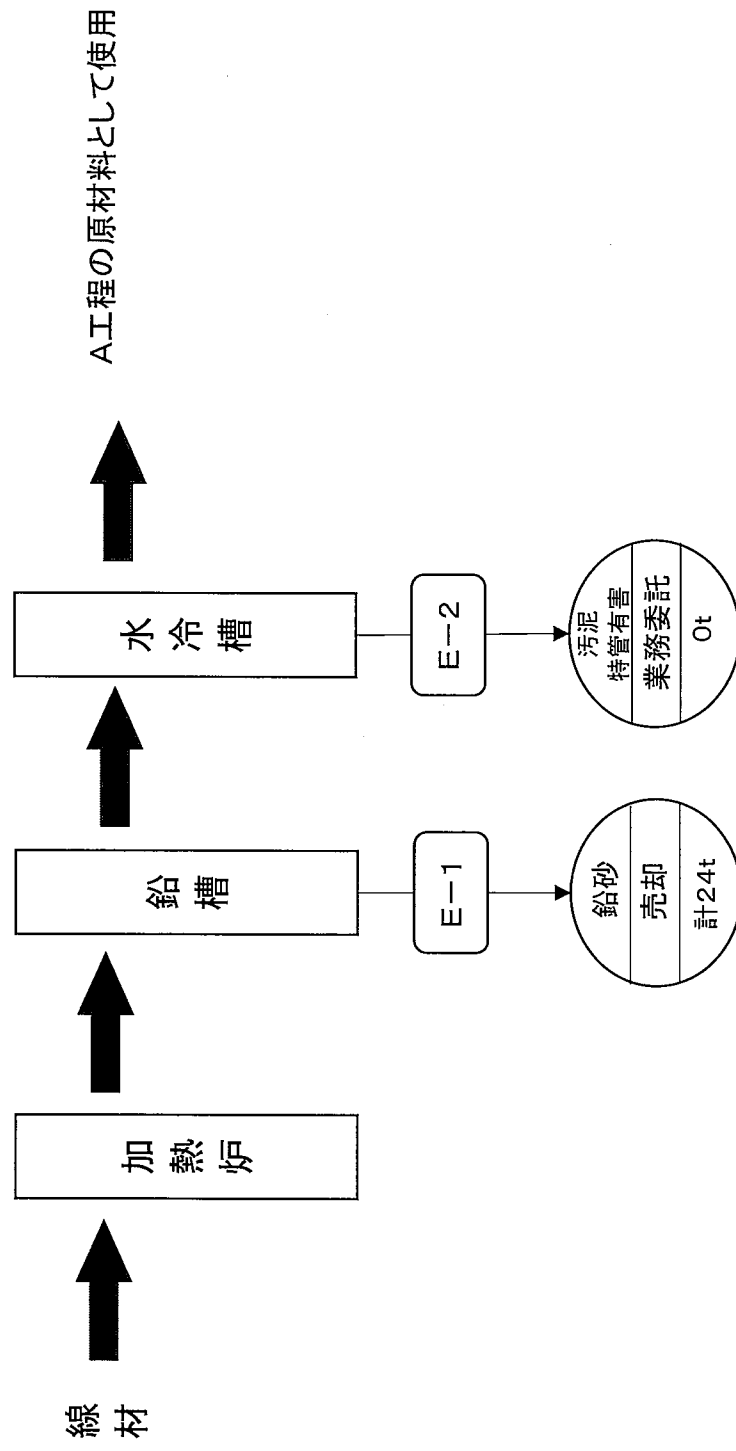


D. 排水处理(凝集·曝气·沈殿)工程

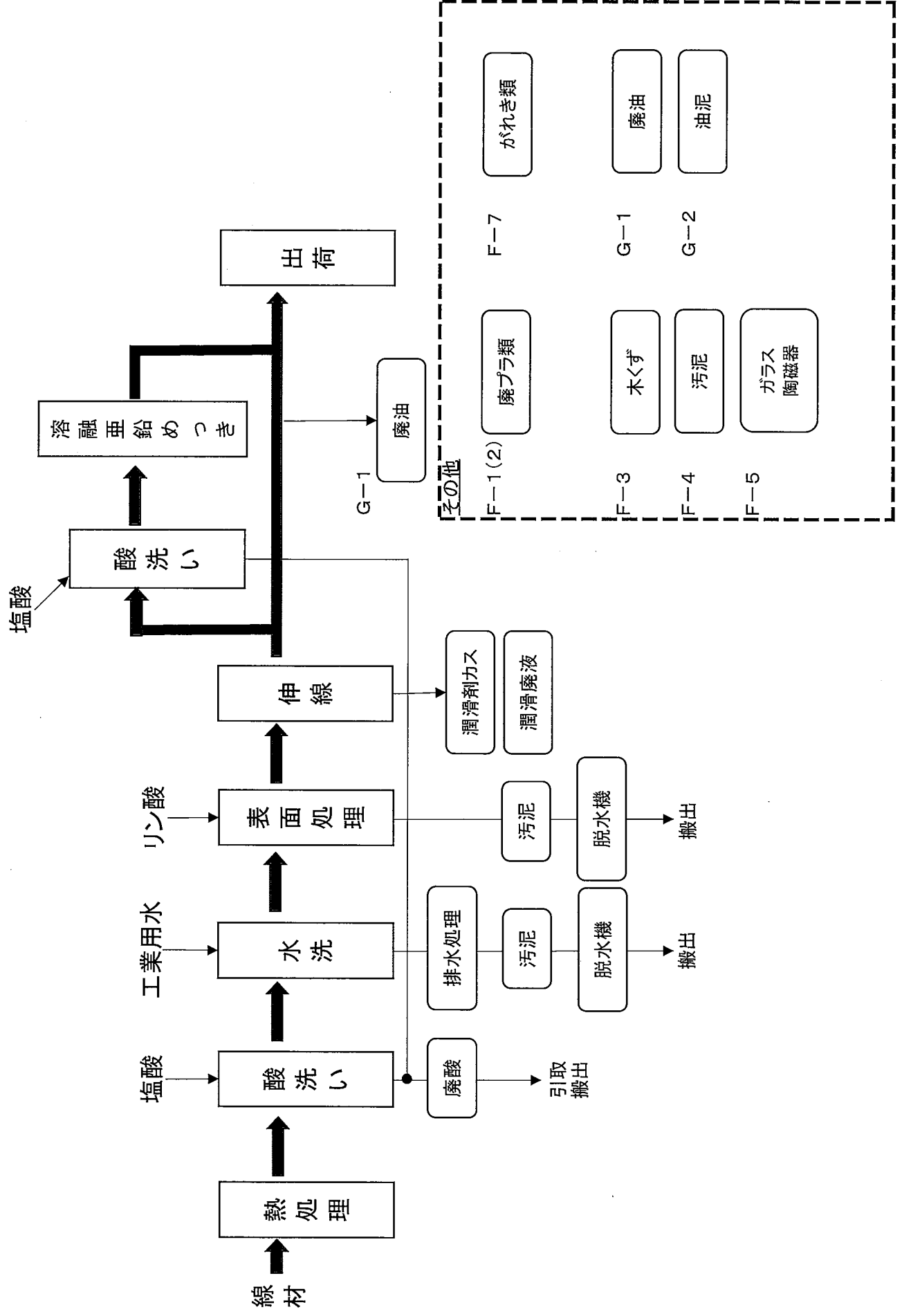


発生工程 フローシート

E. 熱処理工程

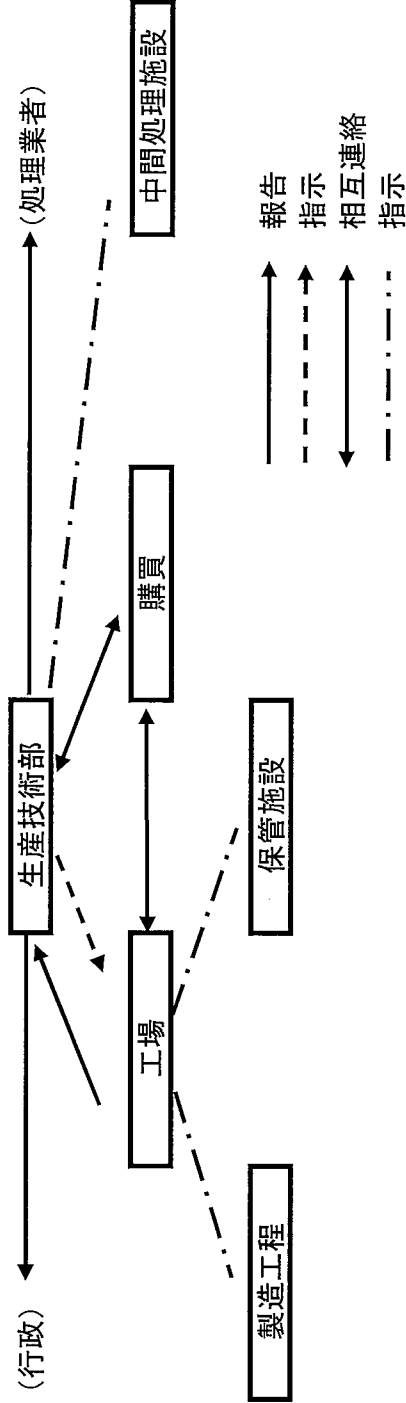


発生工程 フローシート



管理体制図及び各部署の役割

〔管理体制図〕



〔各部署の役割〕

部署	役割
生産技術部	- 産業廃棄物の発生工程、種類ごとの発生量、排出量及び性状等のチェック、集計等 - 処理施設(事業場内・外)の定期的査察 - 行政に対する報告等 - 処理業者委託の委託契約、委託量、委託伝票(マニフェスト)等の管理 - 産業廃棄物の適正管理及び減量化等に関する社内啓発 - 廃棄物の資源化・減量化及び適正管理について検討し産業廃棄物処理計画の策定及びその実施 - 中間処理施設の稼働状況の把握、記録の作成等 - 産業廃棄物の分析及び環境事象の分析、測定等 - 産業廃棄物の発生から処分に至るまでの帳簿等を作成して統括的に把握管理
工場	- 産業廃棄物の種類、性状、発生量及び排出量等の把握 - 各現場の施設の維持管理点検等 - 保管施設での保管量の把握、記録の作成等 - 中間処理施設の稼働状況の把握、記録の作成等
購買	- 産業廃棄物の適正処理費用の算出 - 委託料金の支払方法による業者管理 - 上記内容をプロセス開発Grに報告